

ウオーク探訪力魅力 ～西・堺区コース～



お願い

- 近隣住民や見学箇所の迷惑にならないよう静かに見学しましょう。
- ペットを連れての敷地内の見学は原則禁止です。
- 見学箇所のルールや見学時間等はお守りください。
- お寺や神社には見学不可の場所や時間もございます。
注意書き等をよくお読みいただきますようお願いいたします。
- 路上駐車はしないでください。なるべく公共交通機関をご利用ください。

つくのはちまんじんじゃ 踞尾八幡神社



踞尾八幡神社は、文徳天皇の御代850年に社殿を建て、八幡大神を祀ったのが起源です。主祭神は誉田別命（ほんだわけのみこと・応神天皇）、配神は息長足姫之命（おきながたらしひめのみこと・神功皇后）と武内宿禰（たけのうちのすくね）です。神功皇后が三韓征伐より凱旋の際立ち寄りられました。ご休息の時に”つくまわれ”たことにより、後にこの地の在名を踞尾というようになったと伝えられています。（諸説あり）

境内には堺市の保存樹木に指定された見事なクスノキが、拝殿の右と左に2本あります。この神社の歴史を長年見守り続けてきた2本のクスノキは、拝殿に向かって右前方にあるクスノキが樹齢約890年、拝殿に向かって左後方にあるクスノキが樹齢約740年です。圧倒的な生命力と存在感を放っています。

境内の正面参道階段を上った左手には、源義経が屋島に渡る途中、暴風にあい、家来の武蔵坊弁慶などを連れて踞尾に避難し、海上平安、武運長久を祈願しました。義経が休息のため腰をかけたといわれる「義経腰掛け石」が当時のまま残されています。



義経腰かけ石

所在地：堺市西区津久野町 3-20-25
アクセス：JR 阪和線「津久野駅」下車、徒歩5分
拝観料：無料



えばらじ 家原寺



家原寺は、慶雲元年（704年）に奈良時代の高僧行基が、ご誕生の地に自ら建立されたとされています。ご本尊は智慧をつかさどる文殊菩薩さまを最初におまつりした寺として伝えられており、「三人寄れば文殊の知恵」と言われるように古くから智慧を授けてくださる仏さまとされ、お子さまの健やかな成長と、智慧を授かるようにと願い、また受験生や社会人の方々は入学成就や合格祈願を願って訪れます。

境内には本堂の東にある薬師堂の前に堺市の保存樹木に指定されているヤマモモの大木があり、しめ縄が巻かれ大切な木とされています。推定樹齢800年を感じさせるほどの幹周りです。広大な約8000坪の境内には本堂のほか美しく整えられた多くの伽藍が点在しています。カワセミやサギ等の野鳥が飛来する姿を見ることができ、また中ほどの蓮池では6月中旬頃から大輪の蓮が咲き誇ります。かつての文殊山の社寺林復興を目指し植樹が進められ、静かな環境の中で史跡と自然の両方に触れられる貴重な寺院です。



所在地：堺市西区家原寺 1丁 8-20
アクセス：JR 阪和線「津久野駅」下車徒歩南へ10分、大池前交差点を東へ5分
駐車場：40台（有料）
拝観料：無料
拝観時間：10:00～16:00

大鳥大社

由緒沿革

大鳥大社は、延長5年（西暦927年）に完成した延喜式神名帳に所載されており、古来より農作物の豊作を祈り行われる雨乞いや止雨の祈祷、大きな災い（自身、疫病、災害等）など天地を鎮める祈祷など「防災雨祈の祈祷」ができる靈験特に著しいと言われる名神大社です。



御祭神と社殿

御祭神は日本武尊（やまとたけるのみこと）と大鳥連祖神（おおとりのむらじおやがみ）で、平清盛、重盛父子や織田、豊臣、徳川の三武将も奉納・奉仕したといひ、勝運・開運・厄除・交通安全で信仰されています。

本殿は大鳥造と言ひ、「切妻造・妻入社殿」という出雲大社造と酷似する古形式を保っています。社殿は天正年間（1573年～1592年）の兵乱によって炎上し、慶長七年（1602年）に豊臣秀頼によって再興、さらに寛文二年（1662年）に徳川家綱の命により再建されました。明治三十五年（1902年）には特別保護建造物（現在の重要文化財）に指定されましたが、同三十八年八月雷光のため炎上し、現社殿は明治四十二年に従来の形式通りに再建されました。



日本武尊御神像

白鳥伝説

御祭神の日本武尊は三重県で亡くなり、そこで埋葬されますが、白鳥に化身して大和国琴引原（現:琴引原白鳥陵）、河内国古市（現:古市白鳥陵古墳）に舞い降りた後、最後に留まったのが大鳥の地と言われており、その時に社を建ててお祀りしたのが大鳥大社の起こりだと言います。境内にある千種の社（ちぐさのもり）は、白鳥が舞い降りた祭、一夜にして樹木が生い茂ったと言われています。

御神木（根上りの大楠）

大鳥大社には、堺市指定保存樹木に指定されている樹齢800年以上の「楠」が御神木として保存されており、この楠の樹根が1m近く隆起していることから「根(値)が上がる」と言われ、「根上がりさん」の名前で商売繁盛や財運向上のご利益があると親しまれています。



令和8年度の祭典・神事 大鳥大社では、一年を通して様々な行事や祭礼が行われています。

1/1：元旦祭	3/15：日本武尊 増祀記念祭	10/2： 美波比社例祭
1/3：元始祭	3/20：春分祭	11/3：明治祭
2/3：節分祭	4/18：花摘祭	11/23：新嘗際
2/8：事始め	5/3：憲法記念祭	11/28：冬季祭
2/11：紀元祭	6/30：大祓式	12/31：大祓式
2/17：祈念祭	7/26：夏大祭	毎月1・15日： 月次祭 酉の日：酉の日祭
2/23：天長祭	8/13：例祭	
3/5：火鎮社祭	9/20：秋分祭	



先が見通せるお守り



本殿

所在地：堺市西区鳳北町 1-1-2
 アクセス：JR 阪和線「鳳駅」下車、徒歩5分
 駐車場：あり(無料)
 拝観時間：開門 4/1～9/30 5:30
 10/1～3/31 6:00
 閉門 18:00
 授与所開所時間（神符・御朱印授与）：
 9:00～16:30

いしづじんじゃ 石津神社



石津神社は、孝昭天皇7年（紀元前469年）8月10日に勅願によって創建されたとされ、日本最古の戎宮としても知られている延喜式内社です。主祭神は、八重事代主命、大己貴命、天穗日命で、末社に野見宿祢命・菅原道真公が祀られています。戎神は一般的に耳が遠いとされているため、石津神社では本殿の横に木槌で叩いて願い事を唱えるための板が設置されています。

石津川の河口に近く鎮座する、歴史ある神社です。石津は「石津浜」と呼ばれた港で、和泉国の海と大陸を結ぶ重要拠点でした。そのため、航海の安全や交通を守る神社として信仰が長く続いています。境内には堺市の保存樹木に指定されているクスノキが3本、オガタマノキが1本あります。これらの木々は神社の神聖な雰囲気高め、自然の美しさを感じさせてくれます。



樹齢推定1千年のクスノキ



所在地：堺市堺区石津町1丁15番21号
アクセス：南海線「石津川駅」下車、徒歩10分
阪堺線「石津駅」下車、徒歩7分
拝観料：拝観無料

いわつ たじんじゃ 石津太神社



石津太神社は古くからの歴史を持つ延喜式内社で、日本最古の戎社と称されています。孝昭天皇に紀元前469年に創建され、蛭子命（戎大神）、八重事代主命をはじめとする諸神が祀られている。

毎年12月14日に行われる、泉州の奇祭と称される火渡神事（やっさいほっさい）は、蛭子命がこの地に流れ着いた時に、漁師の人々が108束の薪を集め、火を焚いて暖めて迎えたという伝説によるものです。



やっさいほっさい

石津太神社の境内には、4本の堺市保存樹木のクスノキがあります。境内に向かって左側に立つ大クスノキは、樹齢推定700年とされています。また、鳥居前の御神木も樹齢推定700年と推定されています。社殿を拝した後、ぜひ立ち止まり目を向けてください。

石津の地名の由来となる五色の石が埋めたとされる場所



蛭子命が腰を掛けた大石



所在地：堺市西区浜寺石津町中4丁12番7号
アクセス：南海線「石津川駅」下車、徒歩5分
阪堺線「石津駅」下車、徒歩3分
拝観料：拝観無料

西・堺区の歴史的スポットで古樹巡りを楽しもう



約7キロ コース

スタート

つくのえき

つくのはちまんじんじゃ

えぼらじ

津久野駅---[🚶 約6分 0.4キロ]---①踞尾八幡神社---[🚶 約19分 1.3キロ]---②家原寺---[🚶 約21分 1.5キロ]---

おおとりたいしゃ

いしづじんじゃ

いわつたじんじゃ

すわのもりえき

③大鳥大社---[🚶 約29分 2.1キロ]---④石津神社---[🚶 約15分 1.0キロ]---⑤石津太神社---[🚶 約15分 1.0キロ]---諏訪ノ森駅
ゴール

